

第六波のピークアウト、蔓延防止等重点措置の全国的な解除と、感染状況のおさまりが見られるなか卒業・新学期シーズンを迎えた昨今、いかがお過ごしでしょうか。2022年度は、以前にも増して教育・研究を充実させたいと期待を膨らませている昨今です。

## I. 2022 年度の第 45 回大会について

現段階では現地開催をする方針です。会場での感染防止のため、間隔を空けて座れるように大きな会議室を手配しました。

とは申せ、事態は流動的です。情勢に鑑み、今後、緊急に大会を中止する場合の指針について、以下のように決めましたので、ご承知置きください。

## 開催可否の判断ならびに周知徹底の方法について

開催可否の判断は以下の手続きで行い、最新情報はただちに HP に反映させるとともに郵送で周知徹底します。また、事務局に電話・メールでご照会いただいても結構です。

- ① 大会初日の会場である北海道立図書館・北海道立文書館が使用不可となった場合は、史料見学会のみを中止とします
- ② 大会 2 日目の会場である札幌エルプラザ(札幌市の施設)が使用不可となった場合、少なくとも現地開催は中止とします。完全中止とするか、オンライン開催に転換するかは、改めてご案内します。
- ③ 開催可否に関する最新情報は 5 月 9 日(月)に公式 HP に掲載しますが、中止とする場合は別途、文書を作成して全会員に送付します。

※公式 HP アドレス→<http://w3.waseda.jp/assoc-zckyoiku/>

(旧 HP にブックマークをつけている方は至急変更して下さい。)

## 大会を中止する場合の措置について

大会中止の場合、昨年度同様、発表を申し込まれた会員(および前年度に投稿権を得た会員)について発表を済ませたものとして投稿を受け付けます。大会開催の有無にかかわらず、通常通りにご発表・ご投稿の準備をお進めください。

## 第 45 回大会について

三上 敦史（北海道教育大学）

昨年の第 44 回大会は、大会会場となるはずの大学施設が借用できないため、史上初の公共施設による開催ということになりました。さらにそれさえも北海道がまん延防止等重点措置の対象地域に指定され、公共施設が全て閉鎖となることで万事休止、オンライン開催への切り替えを余儀なくされました。現地での資料見学会を特徴とする本学会の場合、オンライン開催では最低限の役割を果たしたと胸を張ることはできず、大変残念なことでありました。

その後、ワクチン接種の進展、ウイルスの弱毒化等々により、国民の意識は確実に変化しました。加えて 2021 年度にはコロナ禍における子供・若者（なかんずく女性）の自殺者数や、大学中退者数の顕著な増加など、過度な自粛がもたらすデメリットについてもきちんと報じられるようになりました。そうしたことに敏感に反応したのでしょうか、北海道・札幌市ではまん延防止等重点措置がかかっても公共施設は安易に閉鎖せず、可能な範囲で利用に供するようになりました（ちなみに大会会場のエルプラザについて申せば、この 3/21（月・祝）までのまん延防止期間中も、時間短縮さえなく通常開館でした）。

それに引き換え、未だに（医療・介護を除けば）大学業界のみは厳戒態勢のままで、2 年連続、フルリモート授業だった大学・学部さえあり、そうでなくても学外者の図書館使用さえ拒絶したままです。学会に教室を貸してくれる大学など（弊学を含め）ありません。

この現状に鑑みて幹事会で検討した結果、昨年の設計図をそのまま活かして北海道で開催、シンポジウムは新企画（2020 年度の甲南女子大学で実施予定だった内容）に入れ替えて実施することに決まったことは既にご案内の通りです。まだ 2 ヶ月ありますので大会開催について確定的なことは申せませんが、「緊急事態宣言が出ない限りは現地開催が可能な状況」とまでは断言できます。

平年の数字を示せば、5/21 の札幌は最低気温 7℃、最高気温 18℃。朝晩はやや肌寒いものの、日中は春本番の快適な気候です。久しぶりの資料見学会、現地開催での研究発表・シンポジウムを通して、会員の皆さまが対面で久闊を叙す機会となりますよう祈りつつ、（春のセンバツ野球風の表現で申せば）「史上初の 2 年連続」となる大会開催準備にいそしんでおります。ぜひ春の北海道へお越し下さい。

# 全国地方教育史学会第 45 回大会プログラム

## ■ 大会 日 程 表 ■

5 月 21 日（土曜日） 大会初日 北海道立図書館北方資料室 ・北海道立文書館	5 月 22 日（日曜日） 大会 2 日目 札幌エルプラザ 4F 「札幌市男女共同参画センター」
13:50 現地 1F に集合。検温・手指消毒をして入館。 14:00 書庫の見学・説明（約 1 時間）。 ※終了後は自由閲覧、流れ解散とします。 ※懇親会は企画していません。	9:30: 受付開始。参加費（¥2,000）・年会費（¥4,000）。 10:00-11:30: 研究発表（大研修室）。 11:30-13:00: 休憩。なお、大研修室・中研修室を利用可。 〔※11:45-12:45: 第 1 回全国幹事会・常任幹事会（小研修室）。〕 13:00-15:30: 公開シンポジウム（大研修室）。 15:30-16:00: 総会（大研修室）。

- ◎参加される方は、準備の都合上、「史料見学会」「研究発表」いずれか、または両方の参加について、5月8日（日）までに事務局（須田将司：suda（アット）toyo.jp）にご連絡下さい。メールのタイトルは「地教史大会参加」として下さい。
- ◎大会初日の史料見学会のみ、北海道立図書館北方資料室・北海道立文書館にて開催します。2020年に北海道立図書館が増築され、北方資料室のみならず札幌市中心部の北海道庁赤れんが庁舎内にあった北海道立文書館を移転統合、カウンターが同じフロアで並ぶ複合施設となった結果、北海道の歴史に関する多数の一次資料が一ヶ所で閲覧できるようになりました。札幌市中心部からやや離れた江別市にあること、昭和のままの9:00-17:00の開館時間、駅付近にしかコンビニ・飲食店がないことに目をつぶれば、便利になったところです。この施設を見学するとともに、開拓史文書や学校記念誌などをご自由に閲覧いただければと思います。なお、隣接地には北海道教育委員会の現職教員研修施設である北海道立教育研究所があり、道内の学校記念誌のコレクションが充実した図書室があるのですが、あいにく土曜日ですので利用できません。
- ◎社会情勢に鑑み、大会初日の史料見学会後の定例となっている懇親会は企画しません。少人数での会食もしくは個人での夕食をお楽しみ下さい。
- ◎大会 2 日目の受付では大会参加費（¥2,000）のみ徴収します。会場が公共施設であることから、会場での紀要配布は行わず、後日、年会費（¥4,000）の送金をいただいてから郵送します。なお、会場は JR 札幌駅・北大に近接した施設ですので、コンビニ・飲食店とも非常に充実しております。
- ◎宿泊は各自で予約してください。JR 札幌駅付近のホテルが便利です。私学共済会館（ガーデンパレス）は地下鉄大通駅近辺ですので、2 日目の会場までは約 10 分の朝の散歩となります。その他、北大近辺・すすきの駅近辺にもホテルがあります。

## ◇会場へのアクセス

(1) 北海道立図書館 <https://www.library.pref.hokkaido.jp/index.html>

北海道立文書館 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/mnj/> : 江別市文京台東町 41

① JR 函館本線ご利用の場合、札幌駅から江別・岩見沢・旭川方面行きの普通列車に  
乗車、5 駅目（所要 15-20 分）の「大麻」（おおあさ）駅で下車後、南口から徒歩 8  
分ほどです。新千歳空港から大会初日の会場に直行される場合は JR 快速エアポー  
トに乗車して札幌駅で函館本線に乗り換えるか、一つ手前の「新札幌」駅でバスに  
乗り換えます（次の②を参照）。JR では Suica・ICOCA などの鉄道系カードが使用  
できます。

② 新千歳空港から JR 快速エアポート、もしくは札幌市中心部から地下鉄東西線を利用  
され、「新札幌」駅にて下車される場合、駅内のバスターミナルへ進み、北レーン  
10 番乗り場の JR バス「江別（えべつ）駅」「野幌（のっぽろ）運動公園」行き、も  
しくは北レーン 12 番乗り場の夕鉄（ゆうてつ）バス「夕張・栗山方面」行きに乗車。  
約 14 分で「大麻駅南口」下車、あとは①と同様に徒歩 8 分ほどです。JR・地下鉄・  
JR バスでは Suica・ICOCA などの鉄道系カードが使用できますが、夕鉄バスは現金  
のみです。

(2) 札幌エルプラザ：札幌市北区北 8 条西 3 丁目 <https://www.danjyo.sl-plaza.jp/>

JR 札幌駅北口から徒歩 3 分。4F「札幌市男女共同参画センター」大研修室へお越し下  
さい。

## ◇大会初日の午前中に関する情報提供

前泊される方は、北海道立図書館北方資料室・北海道立文書館のある大麻駅の 1 駅手  
前、「森林公園」駅で下車してバス・タクシーでちょっと行ったところに「北海道開拓  
の村」「北海道博物館」があります。早起きは三文の得で、いずれかにお越しになっ  
てはいかがでしょうか（規模・展示内容から考えると、午前中だけで 2ヶ所いっぺんに回  
るのは難しいように思います）。

「北海道開拓の村」はいわば「博物館明治村」（愛知県犬山市）の北海道版であり、全  
道各地から歴史的建造物を移築して作った野外博物館として知られ、国内外からの観光  
客の他、北海道内外の小・中学校の修学旅行でもよく利用されています。教育史関係で  
は旧北海道帝国大学恵迪（けいてき）寮、旧北海道第一師範学校武道館、旧北海中学校  
本館があります。また、構内道路を夏は馬車鉄道、冬は馬橇が走っています（別料金）。

「北海道博物館」は自然科学系にとどまらず、人文・社会科学系の展示・イベントも  
充実していて、子供のみならず大人でも楽しめる博物館となっており、北海道内の小・  
中学校の修学旅行・遠足・総合学習などでよく利用されています。なお、館の公式 HP  
にも載っていますが、小川正人会員が学芸副館長・研究部長・アイヌ民族文化研究セン  
ター長として勤務されています。

## ■ 研究発表・シンポジウム・総会 ■

〈大会 2 日目 5 月 22 日（日曜日）〉札幌エルプラザ 4F「札幌市男女共同参画センター」

研究発表 10:00-12:00 会場：大研修室

司会：大矢一人（藤女子大学）・吉川卓治（名古屋大学）

(1) 10:00-10:30

戦後六・三制発足期の旧沼津市における新制中学校独立校舎建設に伴う資金調達に関する研究－建設貯金の割当及び教育公債公募に向けた市議会教育委員会での審議過程の分析を通して－

古川和人（東京女子体育大学）

(2) 10:30-11:00

東京都の勤務評定反対運動－四町方式が生れるまで－

寺澤雪穂（お茶の水女子大学・院）

◎ 11:00-11:30

全体討論

シンポジウム 13:00-15:20 会場：大研修室

テーマ：「都市の教育問題」

パネリスト：鳥居和代氏（金沢大学）  
大多和雅絵氏（横浜市学校事務職員）  
久保田英助（関東学院大学）  
司会：吉野剛弘（埼玉学園大学）

総会 15:30-16:00 会場：大研修室

---

## 全国地方教育史学会 事務局

〒112-8606 東京都文京区白山 5 丁目 28-20

東洋大学文学部教育学科 須田将司 研究室内

TEL/FAX 03-3945-7378

E-mail suda@toyo.jp

公式 HP <https://w3.waseda.jp/assoc-zckyoiku/>

---